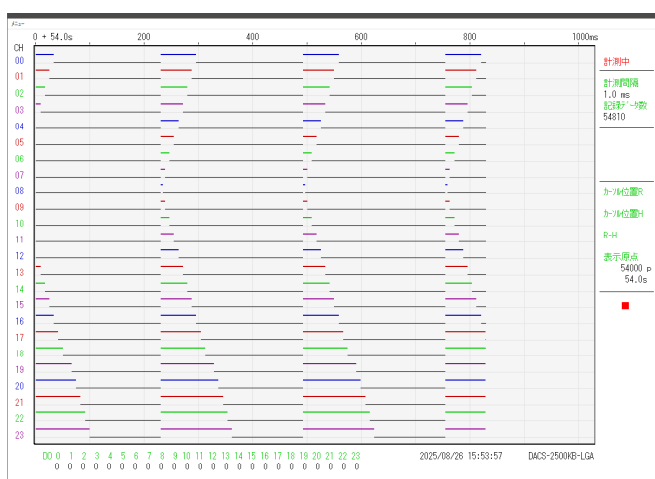


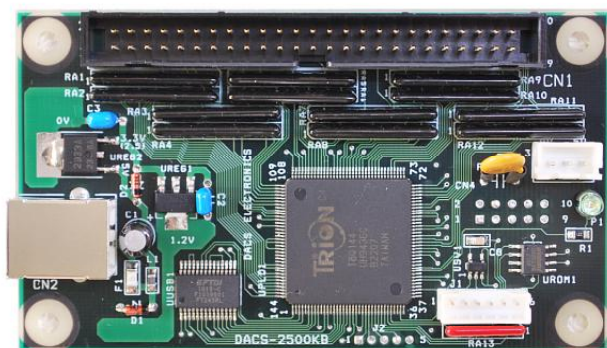
# 24ch ロジックレコーダ プログラム

## LGR24M

### 取扱説明書



ロジックレコーダプログラム LGR24M



ロジックレコーダ基板 DACS-2500KB-LGA  
部品色は使用メーカーにより異なります

ロジックレコーダプログラム  
LGR24M はサンプリング間隔  
1ms～2s で動作します。  
1ms より短い間隔での計測は  
ロジックレコーダプログラム  
LGA240 をご利用ください。  
いずれのプログラムも同じ製品  
DACS-2500KB-LGA  
DACS-2500KBC-LGA  
にて動作します。

# DACS

## 目 次

1. 機能	2
2. ソフトウェアのインストールと接続	2
(1) デバイスドライバと実行ファイルをインストール	2
(2) 測定対象となるロジック入力信号を接続	2
(3) ボードID番号選択	2
3. 計測操作	3
(1) 計測開始	3
(2) 計測停止	4
(3) 計測間隔設定	4
4. 表示操作	5
(1) カーソル位置 R	5
(2) カーソル位置 H	5
(3) R — H	5
(4) ←← □ →→	5
(5) 表示原点	6
5. その他の操作	6
(1) チャンネルの表示／非表示および入力極性反転	6
(2) デジタル出力の利用	6
6. 記録データの保存形式	7

## 使用に関する注意と警告

- (1) 接続の間違い、または操作の誤りによって、万一、対象となる相手方装置、または本装置のいずれかが故障しても、本装置は一切の責任を負いません。
- (2) 本装置を接続することにより、対象機器の電気的な回路状態が変化する場合、直ちに本装置の使用を中止してください。
- (3) 本装置から、対象機器となる装置に異常電圧等がかかり、相手方装置が故障した場合においても、本装置は、相手方装置に関する一切の責任を負いません。
- (4) 本装置を使用した機器の安全に関しては、お客様にて十分な対策を立ててください。本装置を使用した機器の異常動作によるトラブルに関しては、本装置は一切の責任を負いません。

## 1. 機能

ロジックレコーダプログラム LGR24M は、DACS-2500KB-LGA ロジックレコーダ製品に対応した、ロジックレコーダプログラムです。このプログラムにて24chのロジック入力の記録と時間変化の画面表示ができます。

チャンネル数	24
サンプリング周期	最小 1ms 最大 2s
	1ms以下 ( $0.01\mu s \sim 1000\mu s$ ) のサンプリング間隔での計測はロジックレコーダプログラム LGA240 をご利用ください。いずれのプログラムも、同じ製品 DACS-2500KB-LGA DACS-2500KBC-LGA にて動作します。
サンプリング数	連続記録 最大 65,536 最大数を超えるとグラフ表示のみ

### 対応製品

DACS-2500KB-LGA

DACS-2500KBC-LGA

## 2. ソフトウェアのインストールと接続

### (1) デバイスドライバと実行ファイルをインストール

ロジックレコーダプログラムを動作させる前に、弊社USBインターフェイス製品のデバイスドライバをインストールしてください。インストール方法の詳細は、「ドライバインストール手順説明書」を参照してください。

ロジックレコーダ製品フォルダ (dacs2500KB\_LGA) にある、  
実行ファイル LGR24M.exe を適当なディレクトリにコピーしてください。

### (2) 測定対象となるロジック入力信号を接続

デジタル入力 bit0	計測チャンネル ch0
デジタル入力 bit1	計測チャンネル ch1
以下同様	⋮
デジタル入力 bit22	計測チャンネル ch22
デジタル入力 bit23	計測チャンネル ch23

無接続入力は、20K $\Omega$ プルアップで、Highとなりますが、隣接チャンネルのON/OFF 時に、スパイク状の誘導ノイズが入ることがあります。  
無接続入力は、5(1) 項の操作で非表示とすることをお勧めします。

**警告** 接続にあたっては、ロジックレコーダ製品 DACS-2500KB-LGA 説明書の入力信号仕様をご確認いただき、適切なTTL信号と接続してください。  
間違った接続をすると、双方のデバイスを破損する恐れがあります。

### (3) ボードID番号選択

出荷時には0番になっています。

他のDACS製USB製品と共に動作させる場合は、他の製品の設定と異なるID番号を設定してください。ロジックレコーダプログラムは DACS-2500KB-LGA 製品を起動時に識別して、ボードに設定しているID番号で動作します。

他のDACS製USB製品を、同じパソコンに接続していない場合は、出荷時の設定のままで問題ありません。ID番号の設定は、DACS製USB製品の取扱説明書をご覧ください。

### 3. 計測操作

LGR24M.exe を起動します。

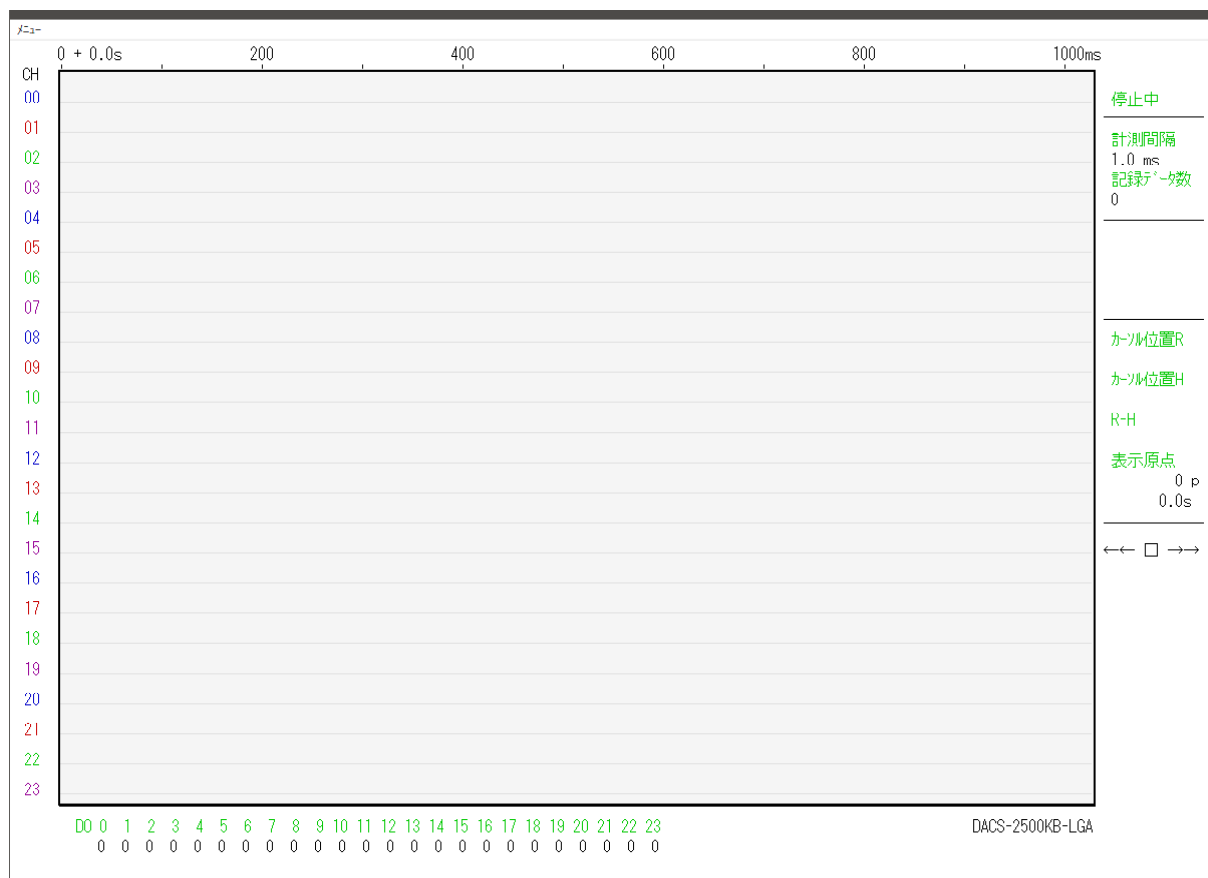


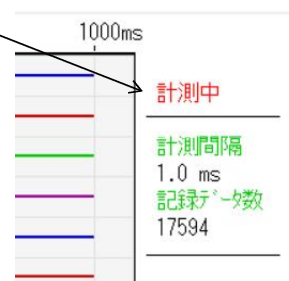
図3.1 起動後の画面

#### (1) 計測開始

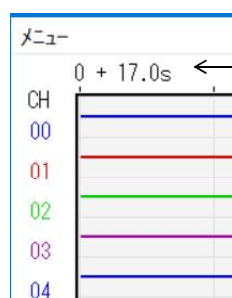
画面右上「停止中」の文字部分をクリック、または Gキーを押す

ロジックレコーダ DACS-2500KB-LGA を接続していないときは、「接続なし」の表示となっており、(1)～(3) 項の操作はできません。

計測を開始すると「計測中」の表示文字に変わります。

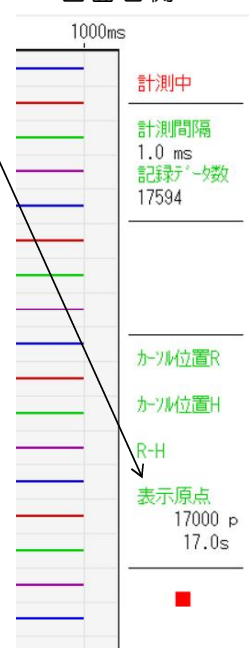


画面左側から計測結果をグラフ表示し、1000ポイント表示で右端になると、表示原点を更新し、再び左側から表示を繰返します。



表示原点は、画面右側「表示原点」欄と、画面上段の横軸時間表示の0点位置に表示しています。  
表示と同時に計測データを保存します。  
記録データ数が最大値の 65,536 を超えると、画面表示のみを継続します。  
記録データは、計測停止にてファイル LGR.txt に自動保存します。  
データ形式詳細は 6項をご覧ください。

画面右側



## (2) 計測停止

計測を開始すると、画面右側下段の ☐ マークが 赤色の ☒ マークになります。この ☒ マークをクリックするか、または Sキーを押すと停止します。

## (3) 計測間隔設定

計測停止中にのみ操作可能です。

計測間隔の文字部分をクリック、または I (アイ) キーを押すと、計測間隔の数値入力になります。

指定範囲 1ms ~ 2000ms 小数点以下1桁の指定が可能。enterキーで確定。

計測を実行すると、次のプログラム起動時には、直前の計測時の設定になります。

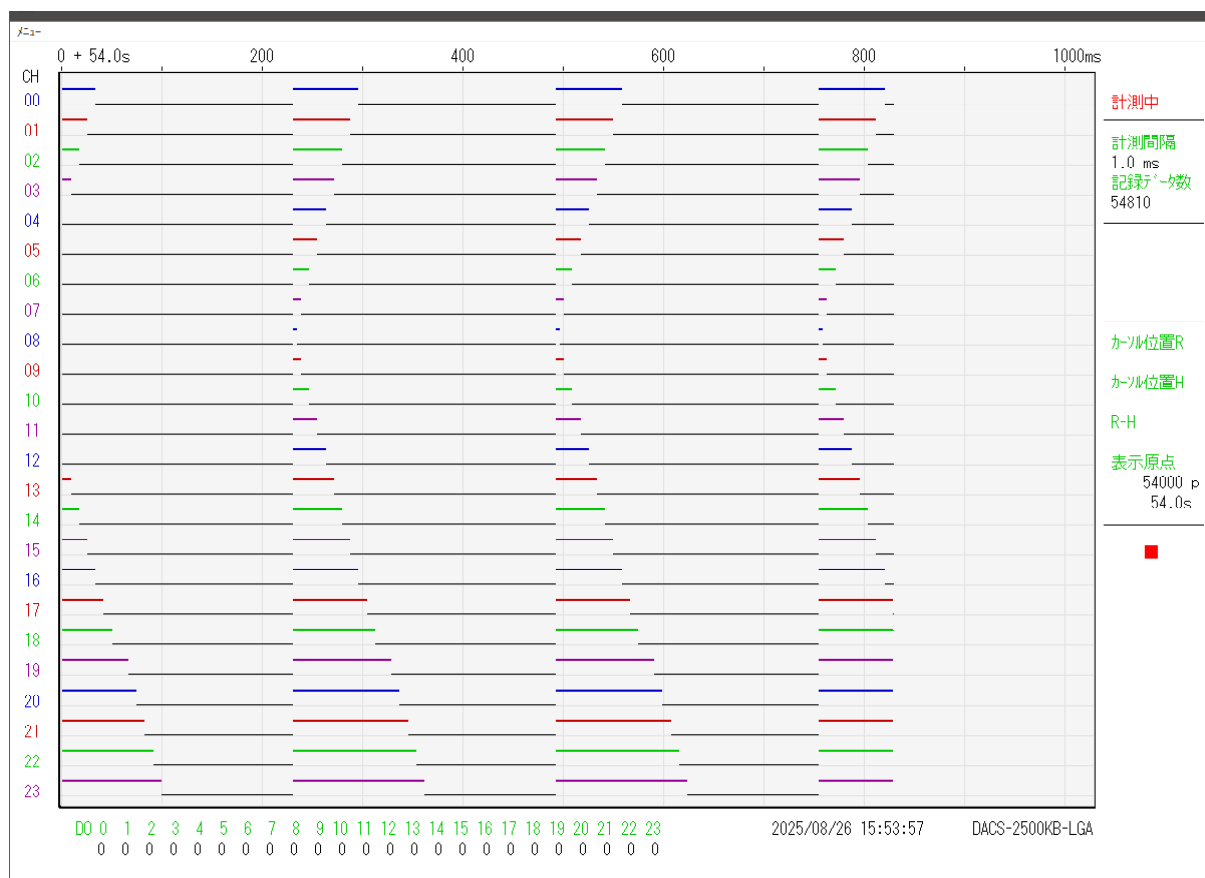


図3.1 計測中の画面例（1000ポイント表示で表示原点を更新し左側から表示を繰返し）

## 4. 表示操作

### 計測停止中の操作

画面右側の中段

(1)～(4)は計測停止中のみ操作可能です。

#### (1) カーソル位置R

グラフィック表示内でカーソルを動かすと、カーソル位置の時間をカーソル位置Rに表示します。

右図の例では 919.0ms の位置に灰色の縦線でカーソル位置を表示し、その位置の数値をカーソル位置Rに表示しています。

#### (2) カーソル位置H

グラフィック表示内でマウスをクリックすると、カーソル位置をカーソル位置Hとして保持します。

保持した位置は、黄色の縦線で表示します。右図の例では 830.0ms の位置に保持しています。

#### (3) R-H

「カーソル位置R」－「カーソル位置H」の時間差を表示します。

#### (4) ←← □ →→

外側矢印マーク 内側矢印マーク 四角マーク 内側矢印マーク 外側矢印マークと、各マーク部分をクリックすると、次のようになります。

□ マーク

計測結果を再表示します。

内側の ← マーク

表示原点を-500ポイント戻して計測結果を表示します。

内側の → マーク

表示原点を+500ポイント進めて計測結果を表示します。

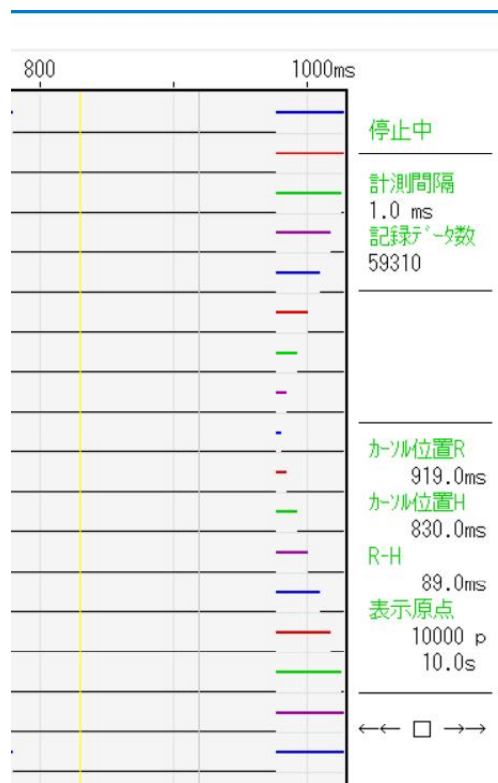
画面には、ほぼ1000ポイントのデータを表示していますので、半ページ分の移動となります。

外側の ← マーク

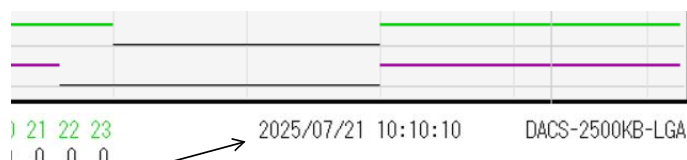
最初の計測結果を表示します。

外側の → マーク

最終計測結果を表示します。



計測開始前にこれらのマークをクリックすると、以前に計測した結果をグラフィック表示し、画面下部に、計測した時刻を表示します。ロジックレコーダ DACS-2500KB-LGAを接続していないときも操作可能です。



### (5) 表示原点

グラフィック画面には、ほぼ1000ポイントの分の計測結果を表示しています。

表示原点は、グラフィック画面の0ポイント位置の時間です。

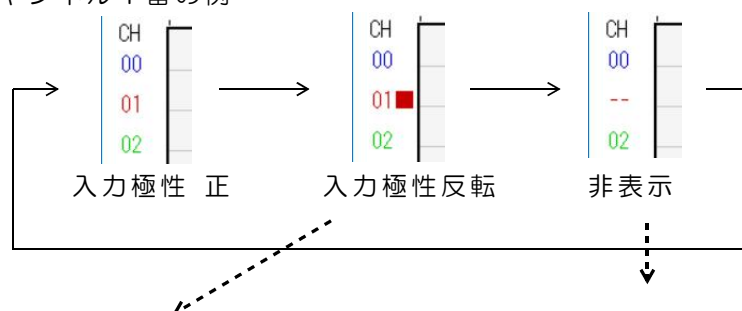
計測実行中と同様の表示です。画面上段の横軸時間表示の0点位置にも表示しています。

## 5. その他の操作

### (1) チャンネルの表示／非表示および入力極性反転

画面左側 チャンネル番号の文字をクリックすると、そのチャンネルの表示／非表示の切換え、および入力極性反転ができます。

チャンネル1番の例



入力極性を反転とすると、レコーダボードの入力でLow/Highが反転します。  
計測開始にて有効となります。

### (2) デジタル出力の利用

画面下側 DO表示のbit番号をクリックして、24bitのデジタル出力を操作します。

計測中/停止中にかかわらず、クリックごとに 0 (OFF) / 1 (ON) が変化します。

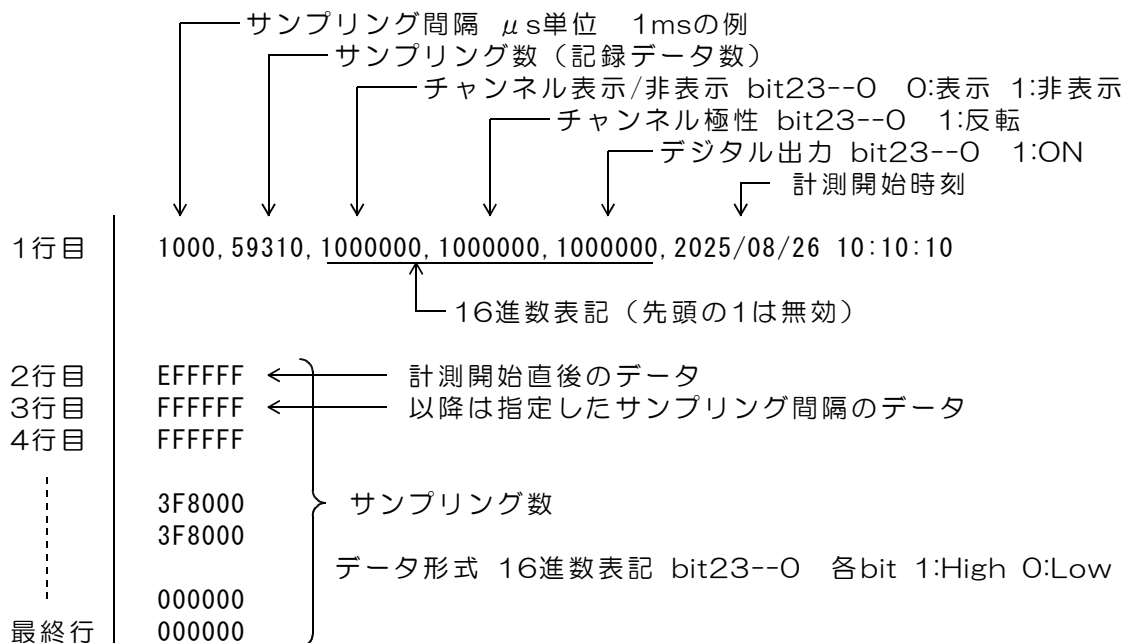
DO	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設定項目(1)、(2)は、計測を実行すると、  
次のプログラム起動時には、直前の計測時の設定になります。

## 6. 記録データの保存形式

計測結果は計測停止時に、ファイル LGR.txt に記録数分のデータを自動保存します。  
ファイル LGR.txt は、実行ファイルと同じフォルダに作成します。

記録データの形式



(完)

製造販売

ダックス技研株式会社

ホームページ

<https://www.dacs-giken.co.jp>

DACSLGR24MK25827E